

議員が中学校へ 教室で学ぶ「議会」と「地方自治」

11月20日（木）溝部議長、平野副議長、平沼議員の3名が福島中学校を訪れ、3年生に向けて「議会」と「地方自治」について出前授業を行いました。

社会科（公民）授業で学ぶ内容を実際の町政に当てはめながら、議会の役割や、住民の声を町に届ける方法などを紹介し、「福島町の未来をどうつくるか」を生徒と一緒に考えました。



中学生に話をしてみた感想 平沼議員

今回は、議会と議員の立場から、議会議員の役目について対話形式でお話をさせていただきました。子どもたちは前向きにこちらの問い合わせに応えてくれ、関心を持って聞いてくれたと感じております。

授業の終わりに『町の未来を動かすには、一人ひとりの「こうしたい」という気持ちが必要であり、誰かが勝手に作るものではない』こと、『一人ひとりの知恵と知識を町に提案することで、町の未来が変わる。その時、そ

こにいるのは君たちです』と話しました。

今はまだ中学3年生だとしても、5年後には20歳、10年後には25歳となり、被選挙権が得られます。

今後は、議員として定期的に子供たちと接する機会をつくり、子供たちと未来の福島について語り合うことも必要だと感じました。

議会諮詢会議より答申

答申書は
こちら



令和7年5月14日付で議長から諮詢された事項について、3回の会議を経て12月26日に極檀会長から溝部議長へ答申書（次期改選期に向けた議会体制の見直し等）が手交されました。答申書の内容はHPに掲載しております。

